

乳児期の全身症状が軽快した後の 10 年後再燃を経て皮膚状態が再び整った小児アトピーの経過 (14 歳 小児)

症例 ID：001-14-UR | 記録日：2015 年 6 月 24 日

1. 診断・治療前経過

生後 4 か月頃に口周囲の赤い湿疹が全身へ広がりました。松本医院で薬湯入浴と外用処置を行い、1 年未満で皮膚は元の状態へ戻りました。約 10 年後、赤い湿疹が再び出たため再受診し、煎じ薬を中心に治療を再開しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイド使用について具体的な記録はありません。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	不明です。
来院前／後	来院前後とも使用状況は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 4 か月	初回発症	口周囲の赤い湿疹が短期間で全身へ広がりました。
乳児期	初回治療	薬湯入浴と外用処置を開始しました。
1 年未満	初回改善	皮膚が元の状態へ戻りました。
約 10 年後	再燃	赤い湿疹が再び出ました。
再受診後	治療再開	煎じ薬を中心に治療を再開しました。
その後 4 年	長期経過	内服の継続に苦勞しながら治療を続けました。
14 歳時	経過後	皮膚状態は再び整いましたが、血液検査の経過をみながら治療を続けていました。

4. ピーク時期

ピークは、乳児期に口周囲の赤い湿疹が全身へ急速に広がった時期です。

5. 困りごと

- 乳児期に全身へ症状が広がりました。
- 再燃後は煎じ薬を継続して飲むことが難しい時期がありました。

6. 経過のまとめ

乳児期の全身症状は 1 年未満で軽減しました。約 10 年後に再燃しましたが、再治療を 4 年間続け、14 歳時には皮膚状態が再び整いました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。